

盛山氏「政策協定」に名認める

教団側から推薦状 首相、更迭を否定

盛山正仁文部科学相が2021年衆院選で、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）側と事実上の「政策協定」にあたる推薦確認書に署名したとされる問題で、盛山氏は7日の衆院予算委員会で「十分に内容をよく読むことなくサインしたのかもしれない」と述べた。野党は宗教法人を所管する閣僚としての適格性を問題視するが、岸田文雄首相は更迭しない考えを改めて示した。

▼3面=強気の首相、4面=焦点採録

林氏、21年に関連団体と面会

関係者の証言によるところ、盛山氏は衆院選公示前の21年10月、教団の友好団体「世界平和連合」が神戸市で開いた国政報告会に出席。盛山氏はその場で、憲法改正や家庭教育支援法の制定など教団側が掲げる政策への賛同を求める推薦確認書に署名し、推薦状を受け取ったという。朝日新聞が報じた。

7日の衆院予算委で、立憲民主党の西村智奈美

氏が事実関係をただすと、盛山氏は「報道があるまでは正直覚えていないかったが、薄々思い出してきた」と述べた。

また、「推薦状を頂戴している写真があるところを見ると、（推薦確認書に）サインをしていたのかもしれないが、よく覚えていない」と答弁。

署名したのか」と問われ、衆院選直前で多忙だったとして、「軽率にサインしてしまった」と答えた。

西村氏は「（推薦確認書は）今でも有効だと考へるのが社会的な常識だ」と指摘。文科省が昨年10月に請求した教団の解散命令をめぐる審問に悪影響が出ることとして、盛山氏の更迭を求めた。

首相は「政策協定書（推薦確認書）の内容は承知していない。文書は

どうであつても今現在は関係を断つていて」と強調し、更迭を否定した。首相はまた、林芳正官房長官と教団側の接点が確認されたと明かした。林氏は7日の記者会見で、週刊誌の取材を受けたところ、21年9月に地元・山口の事務所で旧統一教会関連団体の関係者と面会したことなどが分かったと説明。「地方元政界関係者の調整だった。多數ある面会の一つであり、相手がどういう方で、どのような話をしたのか、現時点では定かでない」と述べ、選舉支援や推薦状などは受け取っていないとした。

週刊新潮の「ユースサイド」「ティリーー新潮」は同日、林氏と教団関連団体のメンバーとの面会を報じた。